

発行責任者：田中正剛

〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14

光永ビル

TEL 0798-22-5172 FAX 0798-34-8353

第2号

報告概要

◆9月定例会のご報告

9月に定例会（9月議会）が開かれました。公営企業会計決算や条例案等25件の議案などを審議した中で、特に阪神タイガースリーグ優勝の祝賀行事に関する一般会計補正予算について、紛糾しました。遅くなりましたが、概要をご報告いたします。

◆ジェネレーション∞レボリューション

私は、選挙の際に「政治を活性化させたい」と訴え、当選させて頂きました。議員となって初めての選挙「衆議院議員総選挙」が行われるにあたって、まずは行動を起こそうと、関西圏の20代・30代の市議会議員8人で結成したグループ「ジェネレボ」での活動をご報告します。

◆視察のご報告

建設常任委員会では交通問題に意欲的に取り組んでいる自治体を中心に視察に行きました。また、高山市で開かれました全国都市問題会議に出席し、バリアフリーを中心に、全国の自治体の様々な取り組みを研修しましたので、併せてご報告します。

◆個人WEBサイトを開設しました。

前号でも掲載しましたとおり、もっとリアルタイムに活動のご報告ができるよう、個人WEBサイト（ホームページ）を開設しました。完全手作りで、まだまだ改良中ですが、この活動記では紙面の都合上掲載できなかったことや不定期ながら日々の活動報告も掲載しています。是非ともご覧ください。

二十七才の志をいつまでも忘れずに、
行動し続けたい。



西宮市議会議員

田中まさたけ (28才)
市政報告

議会報告

～ 9 月定例会から～

◆提案する政治姿勢の大切さを改めて実感しました

地元球団阪神タイガースが、18年ぶりのセ・リーグ優勝を果たしました。地元で優勝を祝おうと、西宮青年会議所を中心に、西宮市や商工団体等17団体で構成された実行委員会が立ち上がり、**西宮での優勝パレード**を含む優勝祝賀行事が企画されました。その実行経費の8割を市税で補助しようという案があったことは一部の新聞でも報道され、ご存知の方も多いかと思います。**金額は約2000万円**。財政難であろうとなかろうと、大切な税金の使い道ですので、議会では慎重に審議をしなければなりません。

真に西宮市の活性化のためになる案であれば賛成すべき議案だったと思います。しかし、パレードにかかる補正予算案が行政側から上程された段階で、PRの方法、通行するルート、安全対策等々、事業として効果をあげるための**計画はあいまいなままでした**。その前に急遽行われた優勝カウントダウンイベントが、準備不足で不発に終わっていたこともあり、「パレードに対しては寄付を募り、市税の持ち出しを極力減らす努力はしますので、とりあえず予算だけはつけて下さい。」では、賛成できません。議会側からの質問に対して、答えることができなかった行政が、後日出した結論が、パレードの断念でした。

行政に説明を求めるだけで、議会側から提案しなければ、決して良いものは生み出されないことを改めて実感しました。



◆財政再建団体に陥る危機

西宮市の財政状況は危機に瀕しています。今後5年間の財源不足額を約272億円と試算しています。ここ数年間は、過去に積み立ててきた基金（貯金）を使って凌いできたのですが、来年度の予算を組んだ段階でその貯金も尽きる計算になるのです。当然地方公共団体が際限なく借金ができるわけではなく、借金の使い道や上限を法律で規制されています。このままの状態では、**平成17年度から赤字予算を組まざるを得なくなり、その数年後には、財政再建団体※に転落する可能性すらでてきているわけ**です。現状維持だけでも、あと1年半で約50億円もの財源を確保しなければなりません。そのためには、職員と議員一人一人の危機意識の共有を前提に、**議会にはその方策の提案が、行政には実行とスピードが必要**だと考えています。

まずは、市役所内部経費の削減ですが、国で定められた法律上、現段階では、職員のリストラや年功序列の給与体系を変えることは現実的ではありません。ですので、今後5年間で定年退職者が激増する中で、**新規職員の採用を抑制**するといった**戦略的な人員削減**とそれに伴う**事業の民営化・民間委託化**が必要なのです。行政の果たすべき役割をもう一度見直し、スリムな行政に変えなければなりません。そのための提案を12月の定例会で行おうと考えています。

— — — — —
※財政再建団体に陥ると…人件費等市役所内部の経費削減と同時に、**市民への負担増**、例えば、介護保険料の値上げ、保育料の値上げ、公共施設の手数料・使用料の値上げ、市独自の事業のカット、団体や個人に支給されている助成金や補助金の減額・カットといった措置が**国の管理下で行われる状況**が想定されます。



活動報告

「ジェネレボ」
ジェネレーション∞レボリューション

◆政治の活性化のために行動を起こしました

私は、4月の選挙で「政治を活性化させたい」と訴え、当選させて頂きました。もちろん、西宮市政の活性化のために行動し続けなければならないと考えていますが、政治の活性化は何も西宮のみの課題ではありません。私が議員になって初めての選挙となりました「衆議院議員総選挙」が行われるにあたって、同じ関西圏で活動している若手の市議会議員8人で「ジェネレーション∞レボリューション」というグループを結成し活動しました。

現代の日本は、山積する課題を抱えているとはいえ、まだまだ表向きは平和で豊かな国であることもあり、私たちと同年代もしくはもっと若い世代の投票率が異常に低いのは現実です。ただ単に「政治」を人任せにしているだけなのか、「政治」を見放しているのか理由はそれぞれ違うにしても、「投票」という形での政治参加ができていないことは確かなのです。この世代の人たちも政治に目を向けるようになれば、政治家の政治に取り組む姿勢は絶対に変わり、政治の質はもっと良くなると考えています。

そこで、その思いを伝えるために行動を起こそうと考え、私たちと同年代の人達がよく集まる場所で、自分たちの言葉で「選挙に

行こう」と訴えました。活動はまだ始まったばかりです。政治の活性化のため、地道に行動し続けたいと考えています。

←新聞やテレビ等マスコミにも多々取り上げられました。



～視察報告～

◆建設常任委員会で長岡市・戸田市・宇都宮市を視察

毎年10月から11月にかけて、各常任委員会ごとに、管外視察を行っています。そこで建設常任委員会に所属している私は、建設の分野について新潟県長岡市、埼玉県戸田市、群馬県宇都宮市の先進の取り組みを研修してきました。

道路整備に頼らない交通問題対策「交通需要抑制（TDM）」の考え方を取り入れ、コミュニティバス・循環バスといった公共交通機関の利用による自家用車交通量の抑制策や、長岡市での下水処理場から発生する消化ガス（主にメタンガス）の有効利用等、環境やバリアフリーに配慮した政策が中心でした。そして、民間事業者の協力を得ることで実現したものも多く、わが市にとっては、初期投資や費用対効果等の課題を克服しなければ導入は厳しい政策でした。

財政難であるからといって、交通問題や環境対策等、投資的な事業を中断していると、将来にツケを回すことにもなります。こうした政策については特に、市民や民間事業者の活力をどう活かせるかが鍵を握っているように感じました。

◆全国都市問題会議に出席

都市問題について特定のテーマを取り上げ、事例を織り交ぜた講演がなされる「全国都市問題会議」が、今年は、岐阜県高山市で実施され、全国から2000人を超える市議会議員が集まりました。

今回のテーマは「誰にも優しいまちづくり」。バリアフリーやユニバーサルデザインについてが中心で、さらに、会場の高山市が全国有数の観光地とあって、市外からの来訪者にも配慮したまちづくりや観光産業を活性化するためのまちづくり等も学ぶことができました。環境は違うものの、わが市にも応用して取り入れるべき考え方でした。